

## 地盤物性学研究室

地盤物性学研究室（旧土質工学講座）をご卒業の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

現在の地盤物性学研究室は、渡部要一教授、西村聡教授、福田文彦助教、技術職員の久保吉史さん、杉本拓也さん、本田佳己さん、そして博士研究員の劉新宇さん、秘書の正木尚子さんの計8名のスタッフで運営しております。

学生については（2026年4月現在）、博士課程9名（日本人3名、中国人2名、タイ人2名、カンボジア人・マレーシア人各1名）、修士課程10名（全員日本人）、学部4年生8名が在籍しております。このように、非常に大所帯かつ国際色豊かな研究室となっております。

現在の研究テーマですが、粘土などの一般的な地盤材料の力学特性に関する研究をはじめ、泥炭・火山灰質土・凍土・サンゴ礫（れき）混じり土といった「特殊土」の力学特性の解明に関する研究、堤防や斜面などの地盤構造物に関する研究、さらには地盤調査・土質試験用の装置開発など、多岐にわたっております。

最後になりますが、OB・OGの皆様、札幌にお越しの際はぜひ研究室へもお立ち寄りください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。